

置き式ガードレール連続基礎 GUブロック SB種



特長・ポイント

SB種 高速道路へ対応可能

GUブロックSB種タイプは GUブロックの優れた機能はそのままにガードレール規格SB種に対応可能とした交通規制材です。

専用のガードレール取付部材の開発によりSB種でありながら道路占有幅を少なく抑えることを可能にしました。

設置・撤去が「自由」に可能
設置・撤去・移動が素早くでき
施工性が高い製品かみ合わせ部を
プレートで連結するため損傷部のみ
入れ替えることもできます。



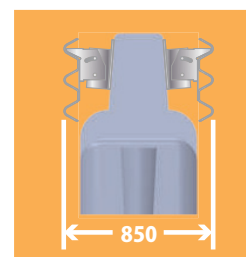
道路占有幅=725mm

専用のガードレール取付用ベースプレートを開発し壁面への設置を可能にしました。これにより安全性を確保しながら道路占有幅を小さくすることを可能にしました。



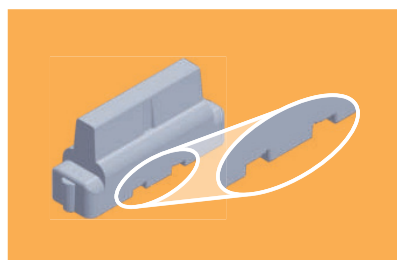
左右にガードレール設置可能

片側だけでなく上下線両側へガードレールの設置が可能です。



水抜き孔付 リフトで運べる

道路排水を考慮し下部に排水孔を設けることで雨水を溜めにくくスリップ事故や路面凍結を防ぎますこの水抜き孔を利用してフォークリフトやハンドリフターで移動が可能です。



参考図書



防護柵の設置基準・同解説
ボラードの設置便覧
令和3年3月版



車両用防護柵標準仕様・同解説
平成16年3月版

擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法・その他

例えばこんな時！

大規模災害（豪雪



/ 地震



/ 事故



等）により

長時間に及ぶ通行止めが発生した場合 **速やかな滞留車両の流出**が求められます。

開口部の無い中央分離帯が続く場合



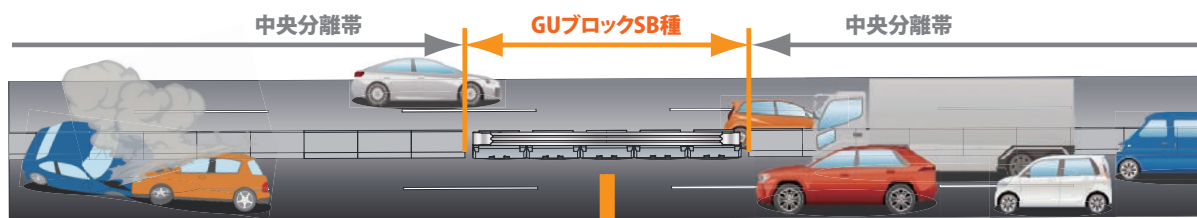
**大渋滞・二次事故・救急車両到着遅延
等さまざまな問題が発生！**



後進での車両誘導は逆走となり 流出までに時間を要します。

中央分離帯の一部が **GUブロックSB種** なら

ブロックを一時的に撤去し **開口部** を作ることができる！



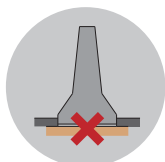
ブロッケー時撤去

※トラッククレーンやフォークリフト ハンドリフターで移動可能

反対車線を活用し滞留車両を流出



路面に直接設置で**工期短縮！** 損傷部のみの**取替えも容易！**



設置・撤去・交換可能

事故等で損傷した場合の
取替も容易です

路面に直接設置し緊張作業不要なプレート連結構造
のため工期短縮が可能（**基礎工不要**）



ハンドリフター移動○



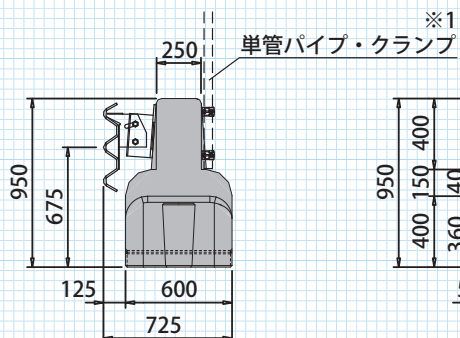
ユニック移動○

製品形状図

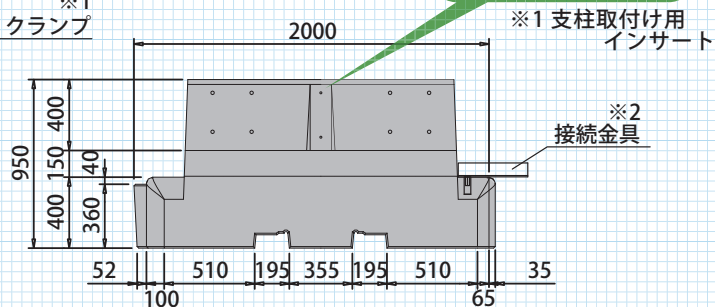
(単位：mm)

〈標準タイプ〉

側面図



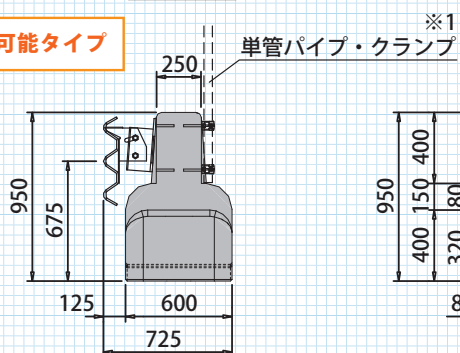
正面図



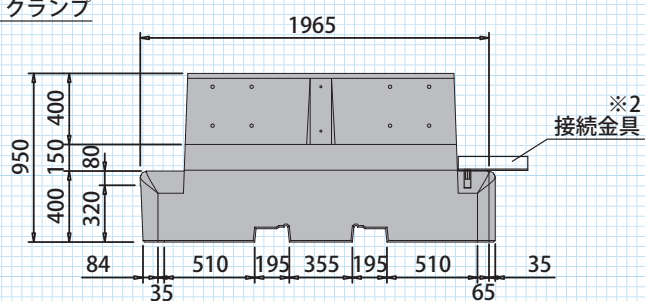
〈凸無しタイプ〉

側面図

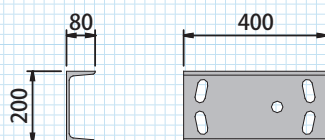
※ハンドリフター可能タイプ



正面図

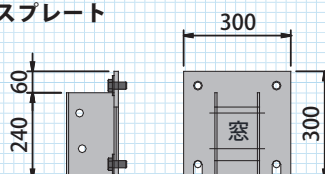


◇接続金具

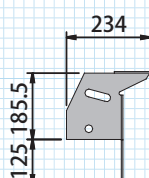


※2 接続金具 200×80 HDZ55
M20 ボルトにて固定する。

◇専用ベースプレート



◇専用ブラケット



ビームは通常の SB 種用ビームを使用します。

擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

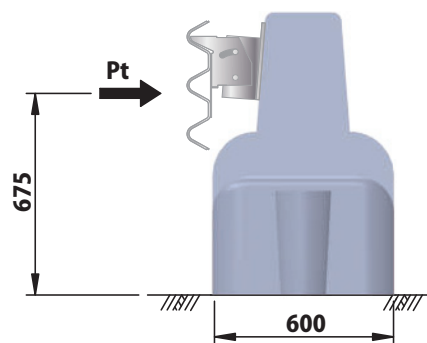
防災・減災・復旧

工法・その他

設計条件 / 適用条件

衝突荷重〈SB種〉	Pt=80kN（たわみ性） 作用高さ h=0.675m
最低連結延長	28.0m（片側 Gr） 32.0m（両側 Gr）
製品重量	1.823kg / 2.0m

ユニック車で作業可能な重量としました



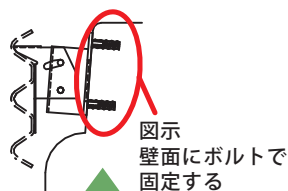
参考歩掛

10m当り

名称	規格		数量	単位
GUブロック	置式 SB 種タイプ	600 × 950 × 2000	5	個
連結金具		200 × 80 HDZ55	5	個
連結金具	ボルト・WT	M20 × 40	5	個
据付工	土木一般世話役		0.20	人
	特殊作業員		0.20	人
	普通作業員		0.60	人
	トラッククレーン賃料	油圧式 4.9t	0.20	日
	諸雑費		3	%

専用ベースプレート及びブラケット設置方法

〈ベースプレート取付け〉 ベースプレートは人力で設置可能です。（10.7kg）



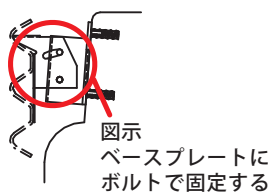
- 一か所あたり必要部材
① 専用ベースプレート ×1
② M20-40ボルト ×4
角ワッシャー ×4

壁面の雌ネジの下側のみにボルトを1cmほど差し込み仮止めする(角ワッシャーも一緒に取り付ける)
角ワッシャーはなるべく、ボルトの頭側に寄せる

ベースプレートの下部切り欠き部を角ワッシャーと本体の間に差し込む

上部ボルトを差し込み、締めあげて固定する
→設置完了

〈ブラケット取付け〉 ブラケットは人力で設置可能です。（3.6kg）



- 一か所あたり必要部材
① 専用ブラケット ×1
② M20-170ボルト ×2
(ソケットサイズ30)
ナット ×1 ワッシャー ×2

GUブロックSB種タイプのブラケットは通常のSB種ガードレールのブラケットの短縮タイプですが、通常品と取付方法は同様です。

付属のボルト2本でブラケットをベースプレートに取り付ける

ボルト取り付け状況
→設置完了

性能確認試験

ガードレール取付け部のベースプレートやブラケットの形状を見直し
軽量化を図ると共に強度の確認試験を実施しました。



本 体



ブラケットの試験

施工実例写真

中央自動車道 中野橋床版取替工事（大月JCT） 施工延長32m 2020年施工



新名神高速自動車道 甲賀土山～甲南間舗装工事 施工延長612m 2021年施工



〔 佐治川橋 〕



〔 神保第二橋 〕

擁
壁

河
川・環
境

道
路

水
路

防
火
水
槽

上
下
水
道

張
出

地
中
線

太
陽
光
関
連

防
災・減
災・復
旧

工
法・そ
の
他

施工実例写真

新名神高速道路 信楽工事

施工延長2906m 2022年施工



首都圏中央連絡自動車道 久喜白岡JCT～坂東IC

施工延長765m 2023年施工

